

環境共生生物学特論実験 (2単位)

担当者氏名 鈴木 敏郎

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

特論で学んだ食品の安全と安心が実際の現場でどのように捉えられ実施されているか、消費者団体、食品企業、公的機関の訪問・視察をとおして学ぶ。また、実務者の説明を聞いた後、質疑応答を行い、関係者間の考え方の相違を総合的にまとめ、食の安心と安全に関して今後3者がどのように共生していくかについて考察していく。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

食の安全と安心

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	消費者団体の訪問	・消費者団体を訪問し、食の安心と安全に対する考え方を把握する	◎食の安心・安全に対する立ち位置の異なる現場を訪問し、現実に即した共生の仕方を総合的に模索する。◎事前に配布する訪問先の資料を熟読し、訪問先での質問を準備しておくこと。
2	食品企業の訪問	・食品企業を訪問し、食の安心と安全に対する考え方を把握する	
3	公的検査機関の訪問	・公的検査機関を訪問し、食の安心と安全に対する考え方を把握する	
4	総合討論	・訪問先の考え方を統合し、どのようにすれば3者間で共生が可能か論議する	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

訪問先の資料を配付する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート (60点) と訪問先での討論参加度 (40点) により評価する

◆オフィスアワー

毎週木曜日 16時30分～18時 畜産物利用学研究室

◆その他受講上の注意事項